

63%と過半数を超えています。しかし、川崎市は小学校1年までと大きく遅れ、子育てしにくい町となっています。

医療費負担の軽減は、本来「国の制度」として確立すべきものです。国に子どもの医療費負担軽減を強く要求し、県に対しても通院補助の中学校卒業までの拡大について働きかけてください。

川崎市小児医療費助成制度の「所得制限なしで中学校卒業まで通院医療費無料化」を目指し、当面、市長公約「小学校卒業までの通院医療費無料化」を早急に実施されるようお願いします。

紹介議員

佐野 仁 昭
猪股 美 恵

請願第 97号

平成27年 2月18日

川崎市議会議長 浅野 文 直 様

川崎区藤崎4-21-2
中学校までの医療費窓口
無料実現実行委員会
代表 田中 国雄
ほか 15,595名

196462

小学校卒業までの通院医療費無料化を早急に実施求める請願

請 願 の 要 旨

小学校卒業までの通院医療費無料化を早急に実施求めます。

請 願 の 理 由

「すべての子どもが健康で元気に育ってほしい」ことは、市民みんなの願いです。健康で丈夫な「未来の担い手」を育てることは、川崎市と日本の明るい未来を築く土台です。

とりわけ「子どもの貧困」「少子化」が社会問題になっている今日、子ども医療費無料化の拡充は、「川崎市子どもの権利条例」実現の立場からも最も急がれる施策です。

関東7都県中の4都県は、実質中学生まで医療費無料です。東京都と群馬県は全県中学生まで無料を実施し、埼玉県と栃木県は各1市を除き中学生まで無料です。さらに11市町村は高校生まで無料です。(長野県内自治体の45%は高校生まで無料です。)

神奈川県内の市町村の「中学無料化率は27%」で関東7都県最低です。(茨城70%、千葉57%。) 県内で小学卒業までと中学生無料化している市町村合計は